

# 教師42年、貧困なくす

## 挑む 政令市議選

### 共産党の新人候補

来春の統一地方選の横浜市議選戸塚区(定数6)で、大和田あきおさん(70)が議席に挑みます。4期16年、市民の声を議会に届け続けてきた岩崎ひろし市議のバトンをなんとしても受け継ぐと全力を尽くします。

### 政治を変えたい

県立高校の教師を42年間務めました。問題を起こす子どもたちに向き合う中で、根本には家庭の貧困があることを痛感します。「子どもたちが悪いのではなく、貧困が子どもたちの心を閉ざしてしまふ。貧困をつくり出したのはこれまでの政治。問題を解決するには、政治を変えなければ

## 横浜 戸塚区(定数6) 大和田あきおさん(70)



ならない」と立候補への思いを語りました。自身の家庭も貧困の中にあったと振り返ります。姉から、大和田さんの大学進学のために、自分は進学をあきらめたこと聞かされました。「貧困

共産党に入党したのは教師になって4年目のとき。高校生の生活指導に関わる実践研究を行う「全国高校生活指導研究協議会」の活動の中で触れた「私が先生になったとき、自分のたたかいから目を背けて、子どもたちに勇気を出せと言えるのか」という詩の一節に

心を揺り動かされました。同僚教師2人から入党の訴えがあり、「自分のたたかい」を始める決意を固めます。県立学校教職員への日の丸、君が代の斉唱強制に反対し、「神奈川こころの自由裁判をすすめる会」を教職員の仲間とともに発足。共同代表を務めました。

「教え子を絶対に戦場に送らない」の信念で、目指すのは、すべての子どもたちがお金の心配なく学べ、子育てしやすく、市民の声が届く市政。自民党の腐敗した政治を変え「市民が主人公の政治」を横浜から実現すると意気込みます。(神奈川県・石井拓生)

のために望む教育が受けられないことはあってはならない」と力を込めます。

「安保法制違憲訴訟かな

がわの会」の世話人も務めています。

### 市民の声届ける

2019年の統一地方選では県議候補として奮闘しましたが惜しくも次点でした。21年の横浜市長選挙では「カジノ反対の市長を誕生させる戸塚区民の会」の事務局長として、カジノ反対の世論を広げました。市民と野党の共同で山中竹春市長を誕生させ、カジノ中止を実現。「下からの民主主義」の力を実感し、市民に最も近い市議会から政治を変える意欲が湧きあがりました。

おおわだ・章雄  
1952年生まれ。  
高校教師42年。党  
戸塚区教育文化部長